

# 2016年度事業報告書

2016年3月 1日から  
2017年2月28日まで

公益財団法人日本野球連盟

## 1. 総括

2016年度の大会事業においては、都市対抗は「豊田市・トヨタ自動車」、日本選手権は「ヤマハ」がそれぞれ初優勝を飾った。前年に続きレベルの高い、醍醐味のある試合が繰り広げられたこともあり、来場者数（都市対抗では55万人、日本選手権では18万人）はいずれも昨年を上回った。クラブ選手権では、沖縄の「ビッグ開発ベースボールクラブ」が初優勝、日本選手権の出場権が与えられるようになった第31回大会（2006年）以降で初めて関東・近畿地区以外のチームがクラブ選手権を制し、クラブチームの勢力図に新たな歴史を刻んだ。

クラブチームに対する振興策としては、全国大会へ向けたステップとなる位置付けの「各地区クラブ選手権」の定着化を図ることと、「クラブチーム技術研修会」を全国に広く展開することがその両輪であり、各地区連盟との協力体制により目的を達成していく方針である。また、地元地域と一体となり、自治体からの協力を得られるクラブチームの育成にも努める。

競技力向上事業における課題は、日本代表候補選手が国際経験を積むための事業の実施である。2016年度はカナダ遠征（WBC大会への参加）を実施したが、今後も継続して、社会人選手が参加できる国際大会への派遣や海外遠征などの強化策を事業計画に盛り込む必要がある。現在、台湾で開催されているアジアインターリーグベースボール（AWB）への参加を打診中である。また、オーストラリアンリーグには、各所属企業の研修の一環としての選手派遣の道をJABAとして開いていく方針である。

普及振興事業については、加盟団体である少年野球や女子野球各団体を通じた支援策が基本となる。指導者や審判員の育成、少年野球教室、ティーボール教室などの事業を側面から支援した。同時にJABAのメイン大会の会場である東京ドームと京セラドーム大阪を活用したティーボール教室では、本年も幼稚園児や保護者など両会場を併せて約2千人が参加した。特に「ティーボール教室による普及振興事業」の実施と一般ファン層の取り込み策としての「JABA会員の拡大」については、今後も引き続き重点課題として推進する。

なお、2016年度においては、JABAとして2つのプロジェクトチームの立ち上げを決めた。2年後の2019年にJABAは創立70周年、都市対抗大会は第90回を迎える。記念イベントの実施については既に決定しているが、毎日新聞社・事務局・有識者による「プロジェクトチーム」（廣田勝巳委員長）により、都市対抗の更なる発展と社会人野球の振興、そして広く野球競技の普及など、JABAにおける次世代の事業活動にインパクトを与えられるような企画立案を目指す。

一方で今後のスポーツ界は、厳しい環境下に置かれることが予想されている。まずは、少子高齢化に伴う人口減による競技者数の減少である。50年後には14歳以下の人口は更に半減するとの見方がある中で、東京オリンピック後の2021年以降には、スポーツ界を取り巻く環境も激変すると予想されており、野球界も例外ではないと認識する。特に、企業スポーツは、様々な経済環境の変化に応じて、常に新しい視点でその在り方を考えいかなければならない。来るべき50年後、更には、100年後においても、JABAの存在意義と企業スポーツとしての社会人野球が確固たる地位を保ち、社会の財産として多くの国民に受け入れられ続けるためにはどうあるべきかという観点で将来構想（事業）について協議することを目的とするプロジェクトチーム（筒井崇護委員長）もスタートさせた。

また、国内のプロ野球やアマチュア関係団体が野球競技の更なる発展のため一致協力して取り組んでいくことを目的とした「日本野球協議会」も発足。少子化に加えて、スポーツや趣味の多様化も相まって、特に普及振興策の検討実施が大きなテーマとなっている。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの成功へ向けて国内のスポーツ界が一体となって取り組んでいる中、JABAとしてもオリンピック・パラリンピックに関連する各種事業の推進に努めると同時に日本野球協議会が推し進める各種施策にも参画する。

## 2. 本年度の事業内容

### （1）公益目的事業I 都市対抗野球等、野球大会の開催と運営

#### ア. 第87回都市対抗野球大会・・・（資料参照）

期　　日　　7月15日（金）～7月26日（火）

球　　場　　東京ドーム

参加チーム　32チーム

※「豊田市・トヨタ自動車」（2年連続18回目の出場）が初優勝を飾り、黒獅子旗を獲得した。

※全国各地区で行われる予選に対し、それぞれ当該地域の地区連盟を通じて、一部運営経費を負担した。

※大会期間中の運営や観客の移動等に伴い排出温室効果ガスを企業等の協力により J クレジット等にてカーボンオフセットすることにより温暖化対策に取り組んだ。(資料参照)

※オリンピック・パラリンピック等経済界協議会による「競技場の美化運動」に協力した。  
(資料参照)

イ. 第42回社会人野球日本選手権大会・・・(資料参照)

期 日 10月29日(土)~11月8日(火)

会 場 京セラドーム大阪

参加チーム 32チーム

※東海地区代表の「ヤマハ」(2大会ぶり23回目の出場)が初優勝を飾り、ダイヤモンド旗を獲得した。

※社会人野球日本選手権大会の対象として代表権を与えた以下の大会に対し、予選費として使用球と審判にかかる経費を支給した。

北海道、東北、長野県知事旗、日立市長杯、東京スピニチ、静岡、ベーブルース杯、京都、岡山、四国、九州

ウ. 第41回全日本クラブ野球選手権大会

期 日 9月2日(金)~5日(月)

球 場 西武プリンスドーム

参加チーム 16チーム

※九州地区代表の「ビッグ開発ベースボールクラブ(沖縄)」(2年ぶり3回目出場)が初優勝を飾り、社会人野球日本選手権大会の出場権を獲得した。

エ. 各地区クラブ大会

以下の通り「各地区クラブ選手権大会」として8大会(中国地区と四国地区は合同開催)を実施した。

主 催:日本野球連盟、日本野球連盟各開催地区連盟、毎日新聞社

後 援:スポーツニッポン新聞社

協 賛:ミズノ株式会社

※各大会の運営は開催地地区連盟に委託。大会運営費は各地区連盟に支給した。

2016年度の開催状況

大会名	期 間	球 場	チ ム 数	試合方法	優 勝 チ ム	準優勝チ ム
北海道地区 クラブ選手権	9/2~3日間	岩見沢市営・ 栗山町営	12	トーナメント	ウイン北広島	小樽野球協会
東北 クラブカップ	9/10~2日間	石巻市民・ 河南中央運動公園	8	トーナメント	東北マックス	盛岡球友倶楽部
北信越 クラブカップ	9/24~2日間	富山アルペンS	7	トーナメント	千曲川硬式野球クラブ	佐久コスモスターズ
関東連盟 クラブ選手権	10/9~2日間	市営浦和・ 岩槻川通	8	トーナメント	YBC 柏	横浜金港クラブ
東海地区 クラブ選手権	9/17・19 11/13・20	岡崎市民・ 三菱大府・ 新日鐵住金名古屋	15	トーナメント	矢場とんぼースターズ	エディオン愛工大 OB BRITZ
近畿クラブ 会長杯	11/19・20・23	マツダシ有田	10	トーナメント	箕島和歌山球友会	関メディバースポーツ学院
中・四国クラブ 野球選手権	6/26・7/4 8/21・9/11	ツネイシS・ JR西日本・ JFE旭ヶ丘	13	トーナメント	松山フェニックス	福山ローズファイターズ
九州クラブ 野球選手権	10/1~2日間	伊集院	8	トーナメント	鹿児島ドリームウェーブ	宮崎福祉医療カレッジ

才. 2016年度各JABA公式大会結果（主要大会のみ）・・・（資料参照）

カ. 各種プログラム管理（プログラム維持・JABA登録事務手続システム）「選手登録・大会出場管理システム」により全国各地で行われる大会への出場手続や選手の登録管理を行った。  
管理にかかる費用については、大会運営に直結することから、法人会計との按分により一部費用を大会事業費に計上した。

キ. 広報活動

日本野球連盟報（年刊会報誌）、JABAニュース（月刊会報誌）を通じて大会事業の広報活動を行った。編集発行にかかる費用のうち、大会事業にかかる部分につき、公益事業Ⅲ（スポーツ情報提供事業）と按分にて計上した。

また、大会事業の広報活動の一環として、社会人野球情報誌「グランドスラム」の制作に協力、インターネット公式ホームページから情報を発信した。大会事業の広報活動にかかる費用については、公益事業Ⅱ（普及振興事業）と費用按分にて計上した。

ク. 表彰事業（年間表彰式）

①表彰選考

表彰選考委員会を開催し、主要大会の成績を基に協議した結果、以下のとおり表彰者が決定した。

位 置	氏 名	年令	所 属	回数
投 手	佐 竹 功 年	33	ト ヨ タ 自 動 車	2
捕 手	山 内 佑 規	28	東 京 ガ ス	初
一塁手	佐 藤 二 朗	36	ヤ マ ハ	2
二塁手	田 中 俊 太	23	日 立 製 作 所	初
三塁手	南 善 規	32	東 邦 ガ ス	初
遊撃手	源 田 壮 亮	23	ト ヨ タ 自 動 車	初
外野手	多 木 裕 史	26	ト ヨ タ 自 動 車	初
	矢 輪 勇 人	26	ヤ マ ハ	初
	菅 野 剛 士	23	日 立 製 作 所	初
指名打者	林 稔 幸	36	富 士 重 工 業	3

（個人賞）※成績・・・（資料参照）

表彰	氏 名	年令	所 属	回数
首位打者賞	東 向 誠	27	J R 九 州	初
最多打点賞	関 本 憲太郎	27	日 本 通 運	初
最多本塁打賞	該当者なし			
最多勝利投手賞	佐 竹 功 年	33	ト ヨ タ 自 動 車	2
最優秀防御率賞	佐 竹 功 年	33	ト ヨ タ 自 動 車	2

②表彰式

期日：12月15日

場所：KKRホテル東京（千代田区）

※関係者等約100名が出席して表彰式及びパーティーを行った

※社会人野球女性ファン層の拡大を目的として、マイナビウーマンとタイアップし、JABA会員とマイナビウーマン会員計20名を招待した。

## ケ. 指導者育成事業

### ①第41回JABA指導者研修会

大会事業のレベルアップを図るため、1月14日、TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター会議室〈千代田区〉において指導者に対する研修会を実施した。加盟チーム監督、コーチ等64チーム81名が参加した。

なお、本研修会は普及振興目的と同一の研修会として実施し、かかる費用については、普及振興目的に対する費用と按分計上した。

## コ. 審判員育成事業

### ①第59回全国審判講習会・・・(資料参照)

2月10日から3日間、四国コカ・コーラボトリングスタジアム丸亀〈丸亀市〉に於いて、審判講習会を開催した。各都道府県ならびに傘下団体の審判員57名が参加した。なお、本研修会は普及振興目的と同一の講習会として実施し、かかる費用については、普及振興目的に対する費用と按分計上した。

### ②各地区・都道府県審判員育成事業に対する支援

各地区連盟又は加盟団体が実施する審判員育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施した。

2016年度は14件の申請に対し、それぞれ委員を派遣した。

## サ. 公式記録員育成事業

### ①公式記録員実地研修の実施

7月15日から12日間、東京ドームで開催された第87回都市対抗野球大会において、記録員講習の実施研修として各地区連盟から9名が参加し、公式記録を担当した。なお、指導は公式記録部会委員が行った。

## シ. 場内アナウンス研修事業

### ①各地区場内アナウンス担当者実地研修の実施(実地研修につき大会運営費に計上)

7月15日から12日間、東京ドームで開催された第87回都市対抗野球大会において、場内アナウンスの実施研修として2名が参加した。

なお、指導はJABA推薦の講師が行った。

## ス. コンディショニングスタッフ研修事業

本年度は実施なし。

## セ. 競技力向上事業

### ①野球技術等に関する研究会

野球技術等に関する研究を競技力向上委員会委員がピッティング・バッティング・守備走塁・フィジカルの4研究会に分かれて「全日本選手育成のためのコーチングガイド」を作成した。この資料は各研修会で講師が使用するものとし、内部資料とすることとした。

開催日：5月21日、7月23日、11月5日

### ②第33回全日本ジュニア強化合宿・・・(資料参照)

各地の優秀選手を東西に会場に分けて召集、競技力向上委員が指導した。

東日本 11月18日～20日 東京ガスグランド<東京都>・

JX-ENEOSグランド<神奈川県> 選手27名

西日本 11月19日～21日 大阪ガスグランド<大阪府> 選手23名

各地区連盟からの推薦に基づき競技力向上委員会で選考した選手が参加した。

競技力向上委員会委員が指導を担当した。

なお、全日本野球協会による日本代表強化事業とされたため、かかる費用は全日本野球協会に計上された。

### ③優秀選手の発掘を目的とする情報収集活動

各地で行われる大会等に競技力向上委員を派遣し、選手に関する情報収集活動を行った。

#### ④身体機能基礎調査

競技力向上委員会（医科学担当）が主体となり、社会人野球選手の身体能力・身体特性を把握することで今後の競技力向上ならびに指導上の指針に役立てることを目的に調査を行った。

2016年 6月16日 JFE東日本  
2016年11月19日 全日本ジュニア強化合宿（東日本地区参加選手）  
2017年 2月 9日 NTT東日本

⑤各地区連盟等が主催で実施する競技力向上を目的とする研修会に対し、運営費の一部支援、また、競技力向上委員やサポートスタッフの派遣を行った。

#### 【クラブチーム技術研修会】

新潟県	5月21日・22日	参加者87名（講師：横井、坂口、サポートスタッフ 宮澤）
北海道	6月18日	参加者40名（講師：北海道技術委員）
福島県	7月10日	参加者26名（講師：新沼、石井、サポートスタッフ 木村）
中国地区	9月17日	参加者40名（講師：原、坂口、足達）
※企業新人研修会と同時開催		
静岡県	11月12日	参加者25名（講師：棚橋、若林、杉浦）
千葉県	11月20日	参加者33名（講師：石井、仲沢、サポートスタッフ 木村）

#### 【企業新人研修会】

中国地区	9月17日	参加者40名（講師：原、坂口、足達）
※クラブチーム技術研修会と合同開催		
東北地区	9月24日・25日	参加者26名（講師：新沼、梶山、サポートスタッフ 伊藤）

#### ⑥全日本野球協会選手（B.F.J.）強化委員会事業に対する協力

B.F.J.が実施する強化事業については、JABA加盟チーム選手や指導者が多数参加することからかかる負担金を拠出した。主なB.F.J.競技力向上目的の事業は以下のとおり。

- ・社会人代表選手強化合宿

期 間：6月26日（日）～29日（水）  
会 場：東京近郊

- ・社会人・大学生強化合宿

期 間：11月26日（土）～28日（月）  
会 場：松山坊ちやんスタジアム

- ・第1回W.B.S.C. U23ベースボールワールドカップ（メキシコ）

開催国：メキシコ

期 間：10月28日（金）～11月6日（日）

参加国：12カ国・地域

※JABAからスタッフ及び選手が選出

- ・全日本野球協会からの要請に応じて国際大会等への代表者等を派遣した。

日本代表チーム監督、コーチ及び関係スタッフ

各大会運営スタッフ（審判員、記録員等）

#### ソ. 海外研修及び派遣事業

##### ①ワールドベースボールチャレンジ（W.B.C.）へのチーム派遣

大会名：ワールドベースボールチャレンジ（W.B.C.）

開催国：カナダ

期 間：8月12日～20日

場 所：カナダ・プリンスジョージ

成 績：①日本 ②アメリカ独立リーグ(Roswell Invaders)

③カナダクラブチーム(Canadian Sidearm Nation)

④アメリカ大学(Thurston County Generals)

⑤カナダクラブチーム(Kamloops Sun Devils)

## (2) 公益目的事業Ⅱ 普及振興事業

### ア. 指導者育成事業

#### ①第41回指導者研修会

前項ケに記載の指導者育成事業について、普及振興目的部分に対する費用は公益Ⅱに按分計上した。

### イ. 審判員育成事業

#### ①第59回全国審判講習会

前項ケに記載の審判員育成事業について、普及振興目的部分に対する費用は公益Ⅱに按分計上した。

#### ②各審判員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

前項ケに記載の各地区・都道府県審判員育成事業について、普及振興目的部分に対する費用は公益Ⅱに按分計上した。

### ウ. 公式記録員育成事業

#### ①各公式記録員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各地区連盟又は加盟団体等が実施する公式記録員育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施した。(加盟地方団体普及振興事業)

### エ. コンディショニングスタッフ研修事業

本年度は実施なし。

### オ. 中学硬式野球指導者事業

#### ①第10回全日本中学野球選手権大会(ジャイアンツカップ)の開催

8月19日から21日・23日・24日、東京ドーム他で開催された本大会では、各少年野球団体から32チームが参加し、「湘南ボーイズ」が優勝した。

#### ②各加盟団体等主催指導者講習会に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各加盟団体が実施する指導者講習会に対し、以下の通り16名の講師を派遣した。

順位	地域	期日	会場	参加団体	参加者数	JABA派遣
1	静岡	12月18日	グランシップ	静岡県野球協議会	200	棚橋祐司(講演) 作田雅子(栄養学)
2	東海	12月18日	羽島市民会館	ボーイズ ヤング	300	渡邊幹彦(医学) 高木俊文(トレーニング)
3	中四国	12月18日	コンベックス岡山	ヤング ボーイズ・リトルシニア フレッシュ	200	原則明(講演) 米川正悟(医学) 佐藤佑介(トレーニング)
4	北部 九州	1月22日	ホテルニュープラザ 久留米	ボーイー ボーイズ・リトルシニア ヤング・ボーイー	200	内川義久(講演) 米川正悟(医学) 中野達也(トレーニング)
5	関西	1月28日	堺市美原文化会館	ヤング ボーイズ リトルシニア	400	村上文敏(講演) 可知芳則(医学) 小松智(トレーニング)
6	南部 九州	1月28日	薩摩川内市 総合運動公園 総合体育館	フレッシュ ボーイズ リトルシニア	150	原則明(講演) 中村和史(医学) 中野達也(トレーニング)

#### カ. 女子野球普及振興事業を実施

- ①第5回WBS C女子野球ワールドカップ（韓国）に対する一部事業費の負担

※全日本野球協会（B F J）との協議により一部事業費を負担した。

- ②全日本女子野球連盟からの要請に応じて事業に対する支援を行った。

#### キ. 野球教室、ティーボール教室

- ①都市対抗開催期間中の7月26日に東京ドームにおいて開催。参加者は地元文京区を中心にして東京都内から親子約1600名。また、日本選手権開催中の11月3日には京セラドーム大阪で開催、主に大阪市内から親子約500名が参加した。指導には、日本ティーボール協会並びに女子プロ野球選手らの協力を得た。

- ②東日本大震災復興支援事業の一環として2会場（8月8日・10月17日 宮城県）で開催。

- ③その他（野球競技普及振興事業）・・・（資料参照）

JABA加盟団体等が実施する野球振興事業に対し「野球競技普及振興助成金」として一部事業費を負担した。

- ・普及振興事業全国一斉実施 30件
- ・ティーボール普及活動 24件

#### ク. 東日本大震災野球復興事業

東北地区連盟との協議により、都市対抗野球大会に出場したチームの協力も得て東日本大震災被災地域における以下の普及振興事業を行った。

- ・野球教室、高校野球指導者とのシンポジウム
- ・ティーボール教室
- ・高校野球選手の交流事業

#### ケ. 競技力向上事業

##### ①国際事業の日本開催

- ・第26回世界少年野球大会 富山大会

世界15カ国・地域から125名の子供たちが参加、9日間に渡り野球教室や各種交流イベントが行われた。（世界少年野球推進財団との共催）JABAから3名のコーチを派遣した。

期 間：8月17日～8月25日

場 所：高岡市

- ・第3回WBS C U-15ベースボールワールドカップ 2016 in いわき・・・（資料参照）

B F J、読売新聞社、いわき市、JABAで実行委員会を組織し、12カ国地域による大会を運営した。大会運営に際しては、JKAの補助事業として助成金を受けた。また、日本代表チームの編成は日本中学野球協議会が行った。

期 間：7月29日～8月7日

場 所：いわき市

成 績：①キューバ ②日本 ③アメリカ ④パナマ ⑤ベネズエラ ⑥コロンビア ⑦台湾  
⑧韓国 ⑨メキシコ ⑩チェコ ⑪オーストラリア ⑫ニュージーランド

##### ②全日本野球協会の選手強化本部事業に対する協力

- ・第7回WBS C女子野球ワールドカップ・・・（資料参照）

全日本女子野球連盟より役員並びに選手を選出し派遣した。

期 間：9月3日～11日

場 所：韓国・釜山

成 績：①日本 ②カナダ ③ベネズエラ ④台湾 ⑤オールトラリア ⑥韓国  
⑦アメリカ ⑧キューバ ⑨オランダ ⑩香港 ⑪インド ⑫パキスタン

- ・第1回WBS C U-23ベースボールワールドカップ・・・（資料参照）

全日本野球協会の要請により、当連盟からコーチ1名と選手6名を派遣した。

期 間：10月28日～11月6日

場 所：メキシコ・モンテレイ

成 績：①日本 ②オーストラリア ③韓国 ④パナマ ⑤メキシコ ⑥ニカラグア ⑦台湾  
⑧ベネズエラ ⑨アルゼンチン ⑩チェコ ⑪南アフリカ ⑫オーストリア

- ・第9回BFAU-12アジア選手権大会・・・(資料参照)  
全日本軟式野球連盟より役員並びに選手を選出し派遣した。  
期 間：12月9日～13日  
場 所：中国・広東省  
成 績：①日本 ②韓国 ③台湾 ④中国 ⑤フィリピン ⑥パキスタン  
⑦インドネシア ⑧香港

- ・全日本野球協会からの要請に応じて国際大会等への代表者等を派遣した。  
日本代表チーム監督、コーチ及び関係スタッフ  
各大会運営スタッフ(審判員、記録員等)

- ・その他

チームの海外派遣及び外国チームの招聘に関する事、並びに国際交流を通じて野球競技の国際的な普及・振興に寄与すること、アジア野球連盟加盟国をはじめ、諸外国からの協力要請がある場合については、全日本野球協会と連携を図り、チームの派遣・招待、指導者や審判員、記録員、選手等の派遣等の各種活動に協力した。また、国際野球ソフトボール連盟、アジア野球連盟及び日本オリンピック委員会、日本アンチドーピング機構等の事業については、全日本野球協会を通じて協力した。

- ③各加盟団体等が行う競技力向上事業に対する支援

各加盟団体が実施する競技力向上事業(選抜チームの海外派遣含む)に対し、申請に基づき一部事業費の負担、講師の派遣等を実施した。

ケ. 展示による普及活動

野球殿堂博物館の維持会員として運営協力を行った。

コ. その他

- ①野球規則の制定に関する協議

規則・審判委員会を設置し、競技規則に関する協議を行った。また、全日本野球協会アマチュア野球規則委員会に代表者を派遣し、野球競技規則制定に関する協議に参画した。

- ②野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議

社会人野球で使用できるバットについては、日本野球連盟(社会人野球)内規に定めた。また、全日本野球協会アマチュア野球規則委員会に委員を派遣し、競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議に参画した。製品安全協会に委員を派遣し、野球競技の用器具に関する協議に参画した。

- ③アオダモ資源育成の会に対する協力

選手が使用する木製バットの資源育成のため「アオダモ資源育成の会」の事業に協力した。

(3) 公益目的事業Ⅲ 野球情報提供事業

ア. 2016年度版日本野球連盟報の発行、配布

2016年度における当連盟の事業や野球に関わる事項等をまとめて発行した。

制作部数は2,200部(予定)、配布先は当連盟内外の関係先、希望者に対する販売も行った。

イ. 月刊会報誌「JABAニュース」を年12回発行、JABA内外の関係先へ配布した。

発行部数は毎回1万部。

※toto助成金の対象事業である。

※事業実施に際して、大会運営に関する事業内容の情報提供と普及振興に関する事業内容の情報提供を含んでおり、事業費については公益事業I(都市対抗野球等、野球大会の開催と運営)にも按分して計上する。

(4) 収益事業

ア. 大会グッズ等の販売

都市対抗野球大会、社会人野球日本選手権大会、全日本クラブ野球選手権大会におけるグッズやプログラム等の販売を行った。

#### イ. 野球関連の書籍の販売

公認野球規則、社会人野球ガイドブック「グランドスラム誌」の販売を行った。

#### (5) その他（諸規程に基づく承認事項等）

##### ア. 2016年度JABA公式大会の承認

- ・各地区連盟及び各加盟地方団体から届出のあった2016年度各JABA大会については別紙のとおり承認した。
- ・日本野球機構を通じて調整した結果、社会人野球日本選手権大会の対象大会へは、ベーブルース杯大会に中日ドラゴンズ（ファーム）、広島大会には広島カープ（ファーム）が出場した。
- ・四国アイランドリーグPlusと協議した結果、四国大会に徳島インディゴソックスが出席した。

##### イ. 野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関すること

2016年度における社会人野球の公式戦で使用するボールは以下に掲げる「JABA公認ボール店」11社から申請があったボールとした。

イソノ運動具店、ミズノ、久保田運動具店、松勘工業、エスエスケイ、ゼット、アシックスジャパン、一光スポーツ、ハイゴールド、サンアップ、大阪ホーマー以上 11社とする。

##### ウ. 所属プロ球団との交流試合

「2016年 プロ・社会人交流試合の申し合わせ事項」に則り実施した。

##### エ. 国内独立リーグとの交流試合

国内独立リーグの球団との交流試合は協定書に基づいて実施した。

##### オ. 熊本地震に対する義援金・・・(資料参照)

都市対抗野球大会並びに同予選開催中に募金活動を実施し、集まった義援金（3,899,115円）は毎日新聞社社会事業団を通じて被災地へ寄付した。

##### カ. 2016度加盟チームの推移・・・(資料参照)

##### キ. 2016度加盟チーム数及び登録者数・・・(資料参照)

##### ク. 2016年度加盟チームの変更事項・・・(資料参照)

##### ケ. 2016年度一般賛助会員数（JABAクラブ）・・・(資料参照)

##### コ. 2016年度会議開催状況

###### ①評議員会

第1回定期評議員会 5月12日 サピアタワー4階会議室

第1回臨時評議員会 8月19日 書面にて開催

###### ②理事会

第1回定期理事会 4月27日 ジャパンベースボールセンター会議室

第1回臨時理事会 7月15日 後楽園飯店

第2回臨時理事会 10月29日 京セラドーム大阪

第3回臨時理事会 12月15日 KKRホテル東京

第2回定期理事会 2月17日 ジャパンベースボールセンター会議室

###### ③業務執行会議

第1回業務執行会議 4月19日 ジャパンベースボールセンター会議室

第2回業務執行会議 7月 7日 ジャパンベースボールセンター会議室

第3回業務執行会議 10月20日 ジャパンベースボールセンター会議室

第4回業務執行会議 12月 8日 ジャパンベースボールセンター会議室

第5回業務執行会議 2月 9日 ジャパンベースボールセンター会議室

#### ④各委員会

##### 【事業統轄委員会】

第1回事業統轄委員会	3月17日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回事業統轄委員会	5月19日	ジャパンベースボールセンター会議室
第3回事業統轄委員会	6月17日	ジャパンベースボールセンター会議室
第4回事業統轄委員会	8月18日	ジャパンベースボールセンター会議室
第5回事業統轄委員会	9月15日	ジャパンベースボールセンター会議室
第6回事業統轄委員会	11月17日	ジャパンベースボールセンター会議室
第7回事業統轄委員会	1月19日	ジャパンベースボールセンター会議室

##### 【競技力向上委員会】

第1回委員長・副委員長会議	3月7日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回委員長・副委員長会議	5月21日	ジャパンベースボールセンター会議室
第1回競技力向上委員会	7月23日	東京ドーム
第2回競技力向上委員会	11月5日	京セラドーム大阪
第3回競技力向上委員会	1月14日	ジャパンベースボールセンター会議室

##### 【規則・審判委員会】

第1回規則・審判委員会	11月29日	ジャパンベースボールセンター会議室
-------------	--------	-------------------

##### 【公式記録部会】

第1回公式記録部会	3月22日	ジャパンベースボールセンター会議室
-----------	-------	-------------------

##### 【コソブライアンス委員会】

第1回コソブライアンス委員会	5月12日	ジャパンベースボールセンター会議室
----------------	-------	-------------------

##### 【クラブ野球活性化委員会】

第1回クラブ野球活性化委員会	6月17日	ジャパンベースボールセンター会議室
----------------	-------	-------------------

#### ⑤地区連盟会長懇談会

7月17日 東京ドーム

#### ⑥地区連盟事務担当者会議

11月30日 ジャパンベースボールセンター会議室

#### ⑦加盟地方団体事務担当者会議

2月22日 東京ドームホテル

#### ⑧日本野球振興世話人会全体会議

5月27日 サピアタワー会議室

日本野球振興世話人会懇談会 7月15日 東京ドーム

#### サ. 2016年度 慶弔及び事務局人事

##### ①表彰

第87回都市対抗野球大会で優勝した「豊田市・トヨタ自動車」に以下の賞が贈られた。

・第66回日本スポーツ賞 (主催: 読売新聞社)『2016年度競技団体別最優秀賞』

・日本ユネスコ協会連盟賞

##### ②逝去

2016年 3月14日	奥田 正勝	(日本野球連盟 規則・審判委員会)
2016年 5月22日	仁木 安	(日本野球連盟 元評議員)
2016年 6月 8日	新野 正人	(新潟県野球連盟 理事)
2016年 8月11日	菊池 哲郎	(日本野球連盟 元副会長)
2016年 8月14日	豊田 泰光	(日本野球連盟 名誉会員)
2016年 9月22日	田口 義嘉寿	(日本野球連盟 顧問、東海地区連盟 会長)
2016年12月23日	藤岡 行弘	(日本野球連盟 元監事)
2016年12月29日	竹中 清二	(近畿地区連盟 評議員、京都府野球連盟 参与)
2017年 1月25日	粒楽 佳夫	(日本野球連盟 元評議員、栃木県野球連盟 参与)
2017年 2月 7日	松井 茂久	(日本野球連盟 評議員、日本少年野球連盟 副会長)

以上